



言葉の持つ力

人が話す言葉は、使い方によって聴く人を幸せな気持ちにしたり、悲しませたりします。ほめられる言葉をかけられると嬉しい気持ちになるし、悪口を言われると悲しい気持ちになります。言葉は人の心を動かす力を持っています。

こんな詩があります。

ひとつの言葉で けんかして
ひとつの言葉で 涙を流し
ひとつの言葉で 頭が下がり
ひとつの言葉は それぞれに
きれいな言葉は きれいな心
ひとつの言葉を 大切に

ひとつの言葉で 仲直り
ひとつの言葉で 笑い合い
ひとつの言葉で いがみ合う
ひとつの心をもっている
やさしい言葉は やさしい心
ひとつの言葉を 美しく



一つの言葉には一つの心があります。美しい言葉が行き交うなかで、友だちとの絆も深まると思います。

「ありがとう、よかったね、気をつけてね、じょうずだね、すごいね、がんばれ、大丈夫? ごめんなさい」など、みんなの心に美しい言葉の気持ちがあふれたとしたら、どんなにか心とむことかと思っています。逆に、相手を傷つけたりばかにしたりする言葉は、友だちとの絆を断ち切る言葉です。ひとつの言葉を大切に、ひとつの言葉を美しくありたいと思います。そして元気のよいあいさつがあふれる学校でありたいと思います。

楽しかった、おもちつき大会

1月10日(土)葛城校区に春を告げるおもちつき大会を約300名の方々に参加していただきにぎやかに開催することができました。

前日から、長生会の方々が臼や釜の搬入、PTAの方々には道具洗いなどをしていただきました。また5年生の子どもたちは、今年度「かつらぎ農園」で自分たちで植え、収穫したもち米の洗米を、手を真っ赤にしながらかけていました。



当日、さあいよいよ始まりです。福祉委員会のボランティアの方々には豚汁の準備、長生会やPTAの方々には蒸す・つく・丸める場所にスタンバイ、子どもたちは入場するなり満面の笑顔で、ワーワーと歓声を上げながら差し出された杵を振り上げながらもちをついたり、小さな手を粉で真っ白にしながらかきたてのもちを丸めてたりしました。そして、「いただきます」。お椀いっぱいに入れてもらった熱々の豚汁と黄粉もちを口にほおばり、大満足でした。



最後になりましたが、地域・保護者の皆様、お忙しい中ご協力いただきありがとうございます。皆さんの姿の一つひとつが子どもたちの心に刻み込まれたのではないかと思います。

インフルエンザ

市内学校園でインフルエンザによる学級閉鎖が増えています。本校も学級閉鎖がありました。

学校においても「手洗い・うがい」の指導をしていますが、ご家庭においても、今まで以上に十分な休養と健康管理に気をつけていただきたいと思います。

日曜参観と教育講演会

2月22日(日)は日曜参観と教育講演会を実施します。2時間授業のうち1時間は、自分らしさを大切にするとともに、相手を理解し思いやることの素晴らしさを学ぶ人権に関する授業を見ていただく予定です。クラスでの子どもたちの授業風景、1年間の成長を感じていただけたらと思います。また、引き続いて行う教育講演会にも多数のご参加をお願いいたします。

いざという時のために

—地震避難訓練—

1月16日、阪神淡路大震災を子どもたちに伝える意味からも、地震の避難訓練を実施しました。子どもたちは、机の下で身を守り、そのち運動場に静かに速く避難し点呼することができました。また、身を守るときには、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」所に身を寄せることが大事だと話をしました。



—集団下校訓練—

地震や台風などの自然災害や不審者出没などの事件発生時に安全に下校できるように1月28日に集団下校訓練を実施しました。



方面ごとに集合し、人数確認したあと高学年が低学年を見守りながらグループになって下校しました。

見守り隊お礼の会を開きます

子どもたちの登下校時に、街角に立って「おはよう」と声かけをし、安全を見守っていただいている見守り隊の皆さん毎日毎日ありがとうございます。

2月24日(火)朝8時30分から児童集会時に「お礼の会」を開催したいと考えています。ご参加お待ちしております。